

夢をもち、夢に向かって意欲的に取り組むことができる生徒の育成を目指して

益城町立木山中学校 第1学年 職業講話の取組

平成28年の2月2日と2月9日に計4時間を使って「職業講話」を実施した。講話に向けて、それぞれの職業について知ることから始めた。進路関係の資料を使い、それぞれの職業について調べ、質問したいことをまとめた。講師



写真1 元アナウンサーの講話

の方には事前に質問を送り、生徒が何を知りたがっているのかお知らせしておいた。

1日目は、地元放送局の元アナウンサーの方の講話からスタートした。本校の出身だということで、生徒は自分と小学校時代中学校時代を重ねながら聞くことができた。

また、華やかな場面しか知らなかったアナウンサーの陰の努力にふれ、感想を書いていた生徒が多数いた。二人目の講師は、イベント企画会社の方で、地元で有名なイベントをたくさん企画、実施されている方だとわかり、生徒の興味が集中した。

2日目は、弁護士とパイロットの方々に話していただいた。 弁護士の方は、裁判で弁護をすること以外にいろいろな仕事があるということに生徒が驚いていた。普段から本をたくさん読むこと、犯罪者の弁護をするときに私的な感情を持ち込まず、被告のことを考え弁護をするという内容に生徒の興味が集中した。

パイロットの方は、生徒に本物を触れさせたいと考えておられ、制服姿で



写真2 パイロットの講話の様子

普段使っておられるカバンを持って登場された。講話の間中、生徒の目が輝いていた。

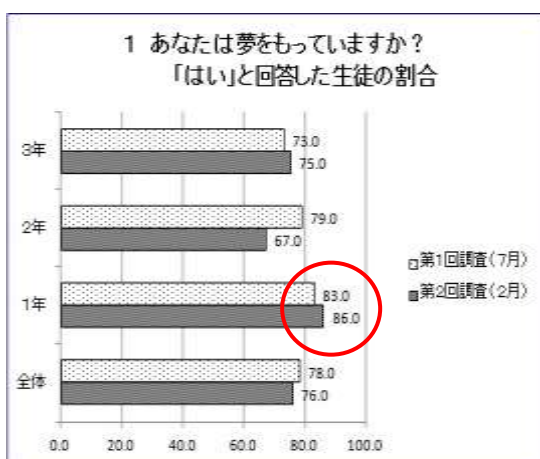
生徒の感想に「心に残ったことは、『飛行機は向かい風をエネルギーにしている。』という言葉です。理由は飛行機のように悔しいことや悲しいことをエネルギーにしてがんばろうと思ったからです。そのほかにも『羽は友達で、エンジンは家族。』とおっしゃっていたことも心に残りました。」とあり、一言一言を肌で吸収している様子うかがえた。

以下は職業講話に対する感想である。

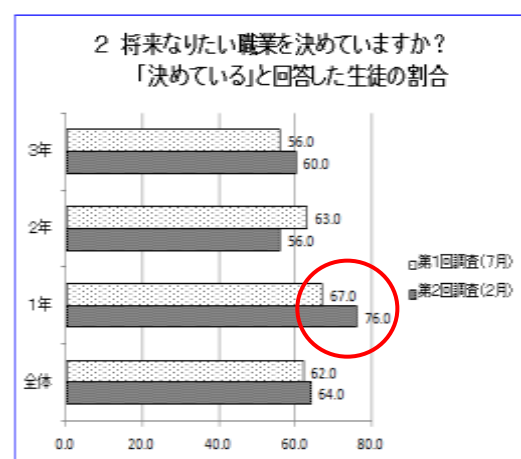
「僕はこの講話を聞いて大人になるのが少し楽しみになりました。理由は、大変でも楽しい仕事に就くことは、やりがいや達成感を感じることができる素晴らしいことだとわかったからです。」

「私は今回の4つの職業には普通になれるものではないと思っていたので、あまりピンときませんでした。でも講話を聞いてその職業について希望を持つことができました。」

講話全体を通して感じたのは、仕事を知ること以上に、仕事に対する向き合い方や生き方を生徒が感じ取り学んでいたことである。本校で平成27年7月と実施後の平成28年2月にキャリア教育に関するアンケートを実施した。「あなたは夢を持っていますか」「将来なりたい職業は何ですか」の項目がそれぞれ伸びており、数値としても生徒の将来に対する意識の伸びがはっきりとわかる結果となった。



グラフ1 夢を持っていますか？



グラフ2 将来なりたい職業は？

今後も学年の発達段階に応じて生徒に本物と出会わせながら夢をもち、夢に向かって、意欲的に取り組むことができる生徒を育成していきたい。